こすど公民館報

発行所　小須戸町公民館
発行人　間野良知
発行日　毎月15日
一部15円
印刷所　昭栄堂印刷所

テーマは「地域スポーツ活動」

県体育指導委員大会終る

―第15回大会を新潟市で開催―

去る七月三日・四日の二日間にわたり、新潟県営陸上競技場において第十五回新潟県体育指導委員大会が開催されました。小須戸町からは平間福治・渡辺欣二・本多和夫・森田登体育指導員及び事務局の渡辺久則係長が参加しました。

本大会の主要テーマとして「地域スポーツ活動の進め方」がかかげられ社会体育の分野で第一線として活躍しておられる方々だけに、二日間にわたり熱心な討論が交わされました。

特に国の指定により地域ぐるみのスポーツ活動に取り組んでいる市町村の実績発表には、得るところも多く感銘を受けた次第です。

それにしても、やはり私たちのように直接住民と接する指導者側と、市町村の行政サイドが一体化しなければならないのではないでしょうか。

話し合いの中にも、行政側（この場合は、教育委員会・社会教育課等）はつい〳〵事務的に物事を処理してしまい、また体育指導員側も連絡・要請がなければ何もしない等の問題が投げかけられておりました。

もっとも、この問題については、費用弁償の関係があったりして、すぐには解決できない点もあるかと思いますが……

しかし、当町においては、体育指導員はもちろんですが、各団体からのボランテイアの参加も大いに得ており、行政サイドとの連携もうまくいっている方でしょう。

今回のテーマにも掲げられている地域スポーツ活動の推進という点については、六名の体育指導員で組織されている連絡協議会においても、指導方針というものをもって各種の行事を行っておりますが、先ほど述べた行政との一体化の外に、最も大切なことは住民各位の積極的参加という姿勢でしょう。

自分自身のための体力づくりであることは言うまでもありませんが、明るい町民性・正しい人間関係を樹立させるためには、スポーツ活動は欠かせないものと思います。

大抵のスポーツは複数で行います。家族集団から始まり、地域、町ぐるみへと発展して行けば、それだけ意義も大きくなるというものでしょう。

—◇—◇—

このたびの第十五回大会に参加し、私たち体育指導員に課せられた責務の重さを痛感し、他市町村の体育指導員ともどもお互いに連携・交歓等を密にしながら、体力づくり運動を推進しなければと誓い合い散会しました（森田登）

小須戸の夏祭　撮影　青木達男氏

第17回小須戸町 近郷庭球大会

日時＝7月25日午前9時〜
会場＝小須戸中学校コート
種目＝団体A・B個人A・B
参加費＝無料
申込＝中央公民館 TEL 2234
主催＝小須戸町庭球協会
（雨天の場合に中止です）

長寿大学案内

七月後半
二二日（木）社会見学（良寛遺跡めぐり・出雲崎方面）
二五日（日）陶芸教室
〃　園芸ク
二六日（月）書道ク
二七日（火）運営委員会及びレインボー実行委員会
二八日（水）生花ク
三〇日（金）料理ク

八月前半
一日（日）囲碁ク
四日（水）読書ク
五日（木）民踊ク
七日（土）陶芸教室
九日（月）書道ク
一〇日（火）生花ク
一五日（日）囲碁ク
（園芸クは八月休み）

お知らせ

水難救助講習会開催

日時　七月二一日（水）午後一時半より
会場　小須戸小プール
主催　連合PTA
共催　教育委員会

ゆっくり走ろう越後路を

〜夏の交通事故防止〜

レジャー、帰省等にともなう車両運行の一時的増加、多湿性酷暑による運転者の疲労の増大及び夏休みにともなうこどもの戸外活動の活発化等の悪条件が重なるため、例年交通事故が多発する傾向にあるので「夏期における安全運転の確保」と「夏休み中のこどもの交通事故の防止」を運動の重点として設定しました

・期間
七月二一日〜八月二〇日

・実施事項
一、交通安全指導所の設置
二、過労、飲酒運転の防止
三、暴走族行為、二輪車事故及び無理な追越しとスピードの出しすぎの防止
四、座席ベルト、ヘルメットの着用指導
五、こどもの遊び場の確保と学校、家庭、地域における交通安全指導の推進

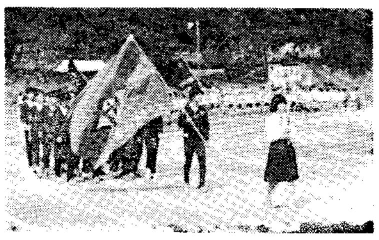
三市中蒲中学校総合体育大会

各種目に好成績

〜家塚君惜しくも二位　一位と同タイム〜

恒例の中学校総合体育大会が、三市中蒲の各会場において開催された。

なお、女子バレーボールは三市中蒲大会で二回戦に負け、地区大会には出場できなかった。



＜陸上＞
男子の部
・一〇〇M　二位　家塚俊晴　四位　武田尚二
・三〇〇M　三位　白川康人
・低四〇〇MR　二位　小須戸中
・八〇〇MR　三位　小須戸中
・砲丸投　六位　川瀬　守
女子の部
・八〇〇M　五位　松沢朝子
・走巾跳　三位　笠原弘子

＜庭球＞
・男子団体の部
一位　五泉中
二位　小須戸中
（地区大会へ）
・女子団体の部
一位　小須戸中
二位　白根中
（地区大会へ）
・女子個人の部
準決勝
（藤井・田中）一：四　亀田
（栄森・渡辺）一：四　白根
（地区大会へ）

＜卓球＞
・女子団体の部
一位　小須戸中
二位　白根中
（地区大会へ）

＜体操＞
・新体操（女子）
一位　新津一中・五泉
二位　小須戸中

＜剣道＞
・男子団体の部
一位　小合中
二位　小須戸中
・女子団体の部
一位　五泉中
二位　白根中
三位　小須戸・庄瀬
（地区大会へ）

＜柔道＞
・団体男子
一位　白根一中
二位　横越中
三位　小須戸・五泉
・個人の部
・軽量級　三位　川瀬千里
・重量級　三位　河内　亮

大型ゴミを収集します

冷蔵庫・洗濯機・テレビ・ラジオ・家具タタミ等の大型ゴミを左記の通り収集します。なお、この日以外は収集しません。
・火木土に収集される区域は八月四日。
・月水金に収集される区域は八月九日。

発見された須藤家資料から

・第二号明治十一年九月公用書記・戸長
・明治十一年十月十日午前八時小須戸の者、便舟に乗り、佐洲航海の途中暴風激浪のため、溺死四名男二人、女二人、他省略
戸長　吉沢源蔵

・右長海寺の義明和五戊子年開山長海寺草創、世代変遷、何年頃より遍照院と号し、明治三年寺院号御取調、並に明治八年、九年、両度、開山長海寺と上申、地元よりも遍照院号を消すよう、長海寺の号を此段お願い申し上げます。

右本寺羽前国田川郡大月坊代、第二三大区小四区新発田駅　元海寺住職　倉本快入
右　地元戸長
明治十一年十月三日　吉沢源蔵
新潟県令永　山盛輝殿

註吉沢は元名主
長海寺と公称されたのは戸長五十嵐三郎の時代です。（柏大治）

続小須戸風土記

土俗信仰　お稲荷さま

柏　大治

昔から大変ご利益があったものとみえて稲荷さまの信仰が盛んのようです。

元、吉岡庄屋が稲荷さまをお祭りしたところを現在でも稲荷町などの地名がのこっております。先般まで高橋家で祭った稲荷さまを下稲荷などといっていましたが、現在は諏訪社の境内に移し朱塗りの鳥居がならんで中々参詣もあるようです。

また、横川浜の長沢信司氏のところでも稲荷さまの祠があり、巻物ものこされています。

数十年前から天ヶ沢新田の元、名主今井国男氏宅の天井に俵がつるしてあり、これは神さまと関係があると思って俵を開いたら、お教えを頂きたいと願っておきましたところ、稲荷さまの免許状や版木がでてきて村中へおふだを配布したようです。

最近では岩塚に宗徳稲荷大社などもできまして中々の信仰をあつめています。人間のしあわせを司る神、五穀豊穣、商売繁盛家内安全、良縁拝受、その他、あらゆる現生利益のある神さまのようです。仏教が伝来、神仏混合して本地垂迹説たとえば天照大神が仏教の大日如来など奈良朝から平安朝に盛んに唱えられ、権現さまとつく神さまはほとんど神仏混合です。鵜出古木の北山さまも神仏混合の神さまです。

醍醐天皇が延喜式を撰定、全国三千二百二十二座として神祇紀典の制度を明らかにしたことは承知の通りですが、鎌倉時代に入り、吉田の祠人神託と称し明治まで神事祭典を一手に司っていました、明治になり、社格、神職を始めてあらためました。徳川時代では仏教をもっとも、はいせきした。一人羅浮子道春（林羅山）が有名な本朝神社考など著わしています。

明治になってからは神と仏と分離をはかり神社の制度を改革官幣大社四十五社、この中には稲荷さまも加えられています同中社二十六社、同小社三社、別格官幣社二十三社、国幣中社四十九社、国幣小社二十六社。

稲荷神社の御神体は倉稲魂命、素戔鳴命、大市比売命となっています さすがの神道学者羅浮子道春先生も稲荷さまについては「此神社建立、権輿未詳社家者流説和銅年中ニ此ノ神始テ現于伊奈利山。（イナリヤマ）

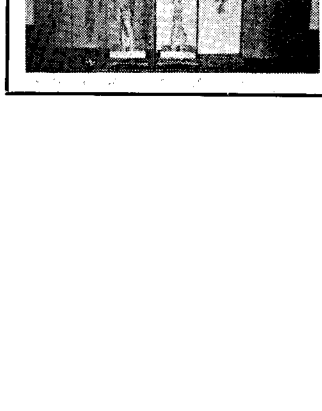
空海東寺ノ門前於、稲を負いたる老人に逢う、海之祭之以て東寺の為の鎮守其の稲を担（になえる）以て故に稲荷と号す。「李部王記に、延長年中、稲荷明神貞崇法師に告て曰く、大般若を読誦すれば災難を消すと。」

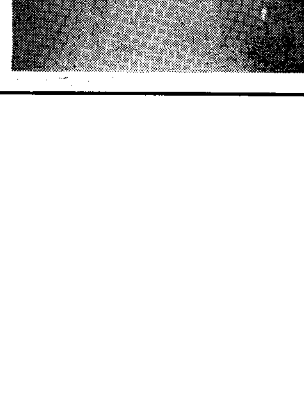
神仏混合の時代とはいえ簡単ににげています。信仰はないよりあった方が結構ですが時代により変ります。昔の人は素朴な文字どおり稲荷さまを五穀豊穣の神さまとしてお祭りしたもので、あまり欲たかりのお願いはしていないと思います。

正一位稲荷大明神
安鎮之事
右於本官雖為奥秘因懇望太畧祀式令修業奉勧遷大明神於其清地
越後国蒲原郡天ヶ沢新田今井家志願
斎祠矣祭祀無怠於尊信者豊饒神福可有守護者也仍如件
城州紀伊郡
稲荷本宮祠宮
正四位下陸奥守忠絅印
文政三年
季春吉辰

別紙は天ヶ沢新田今井国男氏の文献であります。慶応代のものもありますが省略。

写真は長沢信司氏の天明五年の巻物と今井国男氏の稲荷さまです。

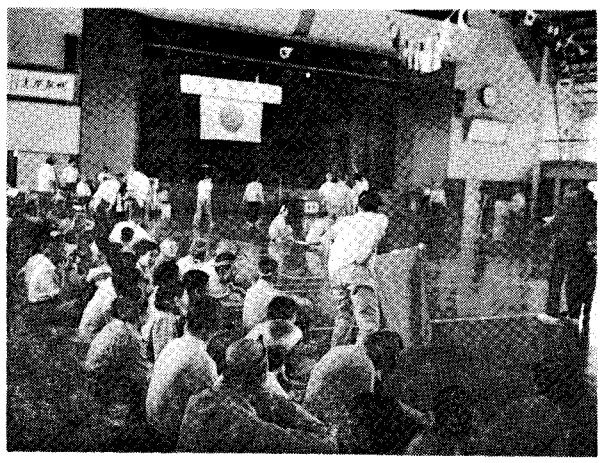




元青年大ハッスル!!
記念運動会盛大に開催
老連結成十周年・長寿大は五周年

七月六日町民体育館では華やかな万国旗が飾られ、終日明るい賑やかなどよめきが続きました。

頭には霜をいただき、額には長い年輪の波を刻んだ明治、大正生まれの青年たち三百余名が参加して、大運動会が開かれたのであります。町老連・長寿大学ができて十周年、五周年を祝う記念行事というので特にNHK・新潟日報より取材に見えられ、全県下に紹介されました。



開会式は入場整列、開会宣言、国歌斉唱、会長挨拶、学生代表挨拶、来賓祝辞(町長、議会議長)選手宣誓、審判長注意、全員ラジオ体操ときびきびと進み、十種目にわたるバラエテーに富んだ本競技にうつりました。

個人競技の外三種目の団体競技がありその総合得点によって四チームの順位が争われ、それだけに応援合戦も熱が入りました。血圧測定やボーリングレースなど選手が真剣であるだけにまた爆笑を買う場面も随所に見られました。

中間に幼稚園児の特別出演があり、かわいいお歌や遊戯に惜しみない拍手が送られました。

最後の玉入れレースを終えて閉会式となり、これ又成績発表、講評、表彰、副会長挨拶、学生代表挨拶、万才三唱、老人クラブのうた斉唱、閉会宣言と進み、本当にお年寄りとは思えない整然としたしめくくりでありました。

チーム対抗の成績順位は次の通りであります。

一位　中央チーム
二位　山の手チーム
三位　上町チーム
四位　下町チーム

なお本大会に専門的立場から役員として直接ご指導ご協力を頂いた体育指導員の方々、金一封のご寄附を頂いた商工会に対し厚く謝意を表します

(大会事務局)

なぎさ
先号なぎさの〝燈籠押し―〟に一言

一町民

先月号〝なぎさ〟の田中氏の意見に一言。

田中氏の小須戸町を愛する気持ちにはまったく同感ですが、数ある提案のうち一部に私の意見をいわせていただきたい。

新潟まつりに押し合いをやってPRすることについては、新潟のど真ん中であの卑わいなかけ声をかけてやるということでしょうか。毎年子供にあのかけ声の意味を聞かれて返答に困っております。まさかよその町だからといって、急にお上品なかけ声も出ないと思いますが……。

たとえ生のPRを実行したとしても、当町に親戚、知人もまったくない人たちが、わざ〳〵交通費をかけて見に来るとは考えられませんが。それからTVの宣伝費の高さはご存じでしょうか。

毎年、まつりの寄附を取られるだけでも私共のような薄給の身では相当なこたえようです。

仝町交通止めの件も、道路は当町のためだけにあるのではありません。

かんたんに全町交通止めなどは、少し手前勝手な感じもします。時代は年々変っているのですからそれらを考慮のうえ、ご検討願いたい。

水のシーズンきたる

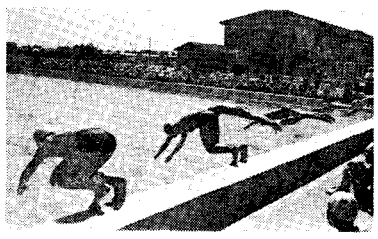
七月二日、ペンキぬりかえの補修作業できれいになったプールで、小須戸小学校ではプール開きをやりました。

はじめに、生命の安全を第一に、神主さんの安全祈願、つづいて、児童たちは、プールに入るきまりの注意をうけ元気よく入りました。

水泳は全身の運動であり、非常に体力を必要とします。それだけに体を鍛えるよい運動となります。

この意味で、小学校では、水泳指導には全職員協力のもと力を入れています。

プールでの泳ぎの指導とともに、事前事後の健康観察及びプールをきれいに、大切に使用するよう十分に注意していきます



―谷川岳登山―

日　時＝8月1日(日)
　　矢代田駅集合(6時8分発)
申込み＝7月30日までに公民館へ
　　(日程表は公民館にあります)
その他＝費用・中食等は各自持参
　　雨天中止・申込者に連絡
主　催＝小須戸町ハイキングクラブ

【青年通信】
青級で五頭登山
無線ク・コンテストに参加
～連青が小須戸甚句の講習～

◎青年学級
・七月四日、午前十時に学級生男八、女六の計十四名が五頭山へハイキングを行った。残念ながら時間等の関係で、頂上までは行けずに中間の鳥帽子岩で休憩し、そこで歌声やゲームを行って午後三時に下山した。(写真)
・去る七月三日夜、白根市の青年学級より呼びかけがあり、当町学級生十二名が白根市へ出向いての交歓会を行った。

又、この他にも当町連合青年団やサークルつくしんぼ等との交歓会も今後の学習に計画している
・六月十九～二十日長岡市で県下青年学級生大会が行われ、当青級より吉田林哉、佐藤幸栄の二名が参加、実践発表を行い実のある研修を行った。

◎無線クラブ
七月十日午後九時から十一日午後三時まで中央公民館三階でアマ無線コンテストに参加した。
十日の午後三時に免許を持つ会員十五名が集まり、屋上へアンテナを建てたり機械をセットしたりでテンヤワンヤ。
夕食・夜食・朝食・昼食ともみんなで分担して行い無事徹夜作業を終了

◎連合青年団
小須戸の若いもんが小須戸甚句が踊れないなんてはずかしい……と、連青の呼びかけで青級・サークルつくしんぼ等の若者が毎週火・金曜日に中央公民館三階で練習を行っている。
希望者はぜひどうぞ。

古い写真ありませんか？
―ご協力下さい―

中央公民館では写真クラブとして古い写真を集収中です。お持ちの方はぜひご一報下さい。(原版は複写したらお返し致します)
※ 中央公民館(電話2234番)

ガス器具修理及び調整費について

役場企業課

ガス器具の修理及び調整については今まで部品代金以外は無料サービスでしたが、保安機器の整備・体制強化を図るため器具修理及び調整費を戴くことになりました。

費用は出張費一律二百円と技術費百円から二千円まで六段階に分れており、その外に部品の実費を徴収いたします。

◎ガス器具及び内管検査について
日下、九月いっぱいまでガス器具及び内管の検査を行っておりますのでご協力下さい。
・調査区域
大川前三丁目・本町二丁目より下町、及び中央町北側より下町、新保竜玄の各地区。
・調査内容
一、敷地内ガス管、内管のガス洩れ検査
二、ガス器具台数、ゴムホースの検査
三、ガス風呂釜、湯沸器等の排気筒の有無。他なおガスについてのお問い合せは左記へどうぞ。
・役場内企業課(電話)三一一一番内線二九
・ガス供給所二六三三番
・水道現業所二一二二番

分館だより

◎矢代田分館
六月二十日午後一時半から矢代田保育園で教養講演会が行われました。
これは青少年部の主催で行われたものでテーマは「幼児のしつけと母親の心構え」で、講師は新潟市あさひ幼稚園長の小林美代子先生でした。

◎新保分館
こども会育成会総会
昨年度結成された新保竜玄こども会を、地域ぐるみで援助育成するための組織が生れました。
六月十五日新保公会堂で教育長さん、中・小学校長さんご臨席のもとに結成総会を開き、会則、事業計画、予算等もきまりました。
会長には川瀬分館長、副会長に米田作一、石本一作氏が選出され今後の運営に当ります。

田中文庫の貸出しについて

五月号「なぎさ」欄でご要望のあった田中文庫の貸出しについて、六月十五日運営委員会を開きいろいろ検討いたしました。その結果原則的には一般貸出しはいたしませんが、特殊の研究をされている方や、責任者のしっかりした読書グループ等に対しては別に考慮することになりました。

そうした場合は直接事務室へお申し出てください。

なお、将来は更に検討を重ねたいと思っております。

(公民館長)

春のつり大会
天狗が腕を競う

六月十三日(日)内野の新川で町民魚つり大会が行われ、三十名が参加成績は次のとおり。

団体一位　友鱗会
〃　二位　加藤釣クラブ
〃　三位　竹井釣クラブ
個人一位　大竹虎一
大物賞一位　久保進

青壮年の体力テスト実施

自分の体力程度を知るチャンスです。ぜひどうぞ。
期日＝7月25日(日)
　　午後1時30分～
会場＝町民体育館

児童作品展

◎絵画

小須戸小二年二組
さごいまさゆき

三頭の親子牛が、さごい君のためにポーズをつくってくれました。

右はしの仔牛がかわいらしく描けています。

手前の黒い牛がとてもたくましいですね。

次回は矢代田小学校の皆さんの作品です。

大さわへいったこと

小須戸小三年一組
栗林聰

五月三十日は、まちにまった、交かん会でしたぼくは、うれしくて朝早く起きました。あんまり早く起きすぎて、少しあそんでいました。するとおかあさんが「ごはん早く食べねとおくれるろ」といいました。その日の朝ごはんは、おにぎりでした。ぼくは、ガブリとごはんにかぶりつきました。

そして九時になるといえを出ました。まだ矢代田のこうえんについても時間があったので少しあそんでいました。すると九時半になったみたいなので少し歩いていってみると「しゅうごう」といいました。ぼくは、いそいではしっていきましたそして一番さきにならぼうと思っていたら、まきの君のうしろでした。みんながならぶと、こんどはようちえんの時のならび方をしていくといったのでいっせいにならび方をかえました。

そしていっせいに大さわへむかいました。だんだん森みたいな所へはいっていきました、ぼくのとなりは川せたかし君でした。ぼくは、「あっ、そこにへびがいたとおもったらちごかった」とじょうだんをいいながらあるいていました。すると近くにがけがありました。ぼくが下をのぞくと三メートルぐらいありました。

大さわの入口まできました。そこで水をのんだりしていました。なかには下の方に、さわが見えたので下でごはんをたべると思いこんで下へいく人もありました。「下でごはんたべねんぞ」といったら大いそぎであがってきました。そしてごみひろいをしました。それがおわると、おもしろいお話をきかせてもらいました。それもおわりました。

ぶたじるのにおいがしてきたのであわてて食べようとしたらとてもあつかったです。

ごはんを食べおわったら、とんぼをとったりかにをおさえたりしてあそびました。

ぼくが、さいごに東村山をゆってきました。その日はとてもたのしかったです。

ママさんがんばる!
婦人バレー大会開催

県民スポーツ行事の一環として、去る七月十一日新津第二小学校において二市中蒲婦人バレーボール大会が行われました

参加数は九チーム。当町から参加した小須戸分館チームはAブロックで二位、横水分館チームはBブロックで四位でした

六月句会報

小須戸町俳句同好会

笹の香のだんご車に梅雨近し　越楼
泥負虫青田嵐にゆれており　太浪
サッキ咲くや訪ね来る人心待つ　四山
夏浅き釣場を横切る鴨の影　林哉
大けやきいつも風あり臭は来ぬ　芳人
水面切り走りし凧の綱太し　樫男
色増して鍋におどれる莢豌豆　紀男
薔薇園の彩なす雨後の陽となりぬ　良遊
散り敷ける胡桃の花の虫に似て　松山
子に見せる子の耳垢や風香る　静花
短か夜のドア押して猫入り来る　虚秋

恙がなき日々

中央町三　我妻清作

恙がなき日々を祈りぬ身寄りなき部落外れの行人塚に